

領域	専門基礎分野	授業科目	病理学Ⅱ	単位(授業時間/時間数)	1(28/30)
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業回数	14回
担当講師名	非常勤講師		講師所属		
特記事項	—			—	

### 業のねらい

呼吸器・循環器・血液造血器の障害において、それが生活にどのように影響を与えているかを理解し、必要な看護につなげてほしい。

### 授業目標

呼吸器疾患の病態生理・症状・治療・検査について理解できる。

循環器及び血液造血器疾患の病態生理・症状・治療・検査について理解できる。

### 授業概要

(呼吸器) (12時間)

1. 呼吸器疾患の理解
  - 1) 感染症
  - 2) 間質性肺炎
  - 3) 気道疾患
    - (1) 気管支喘息
    - (2) 気管支拡張症
    - (3) 慢性閉塞性肺疾患
  - 4) 肺血栓塞栓症
  - 5) 呼吸不全
  - 6) 呼吸調節に関する疾患
    - (1) 過換気症候群
    - (2) 睡眠時無呼吸症候群
  - 7) 肺腫瘍
  - 8) 肺・肺血管の形成異常
    - (1) 肺分画症
    - (2) 肺動静脈瘻
  - 9) 胸膜・縦隔・横隔膜の疾患
    - (1) 胸膜の疾患
    - (2) 縦隔の疾患
    - (3) 横隔膜の疾患
  - 10) 肺移植
  - 11) 胸部外傷
    - (1) 肋骨骨折
    - (2) 横隔膜破裂
    - (3) 肺損傷
    - (4) 気管・気管支損傷

(循環器) (10 時間)

1. 循環器疾患の理解

- 1) 虚血性心疾患
- 2) 心不全
- 3) 血圧異常
- 4) 肺血栓塞栓症不整脈
- 5) 弁膜症
- 6) 心膜炎
- 7) 心筋疾患
- 8) 肺性心
- 9) 先天性心疾患
- 10) 動脈系疾患
- 11) 静脈系疾患
- 12) リンパ系疾患
- 13) 高脂血症

(血液・造血器) (6 時間)

1. 血液・造血器疾患の理解

- 1) 赤血球系の疾患
- 2) 白血球系の疾患
- 3) リンパ網内系疾患
- 4) 異常タンパク血症
- 5) 出血性疾患

アレルギー性紫斑病

特発性血小板減少性紫斑病

血栓性血小板減少性紫斑病

血小板機能異常症

ヘパリン起因性血小板減少症

血友病

フォン・ヴィルブラント病

播腫性血管内凝固症候群

**授業の進め方**

講義

**教科書**

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔2〕呼吸器 (医学書院)

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔3〕循環器 (医学書院)

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔4〕血液・造血器 (医学書院)

**参考図書**

**評価方法**

終講時 客観式テスト (呼吸器 : 40 点、造血器 : 20 点 循環器 : 40 点)

試験時間は時間数に含む。